

横島小だより

NO. 2

令和6年6月14日(金)
玉名市立横島小学校
校長 森山 資典

燃やせ横島魂～心を一つに楽しもう～ 5月25日(土)運動会



「燃やせ横島魂～心を一つに楽しもう～」のスローガンで、5月25日(土)晴天に恵まれて令和6年度横島小学校運動会を行うことができました。6年生にとっては、小学校最後で、そして、学校全体をリーダーとして導いていく運動会でした。そこで、6年生は、4月の後半から運動会に向け準備をはじめ

て来ました。また、1年生には初めての運動会で、広い運動場での行進からラジオ体操、70M走、むつごろうどん(表現)、リレーと心も身体もたいへんだったと思います。しかし、練習のきつさを乗り越えて横島小の子どもたちは、心も身体も大きく成長しました。私は、スローガンの**燃やせ横島魂**に1588年から始まった横島干拓のフロンティアスピリットを強く感じました。

そして、今年も運動会が行えたのは、保護者をはじめ地域の皆様方のご協力とご支援のおかげです。心から感謝いたします。

初めての運動会1年生、可愛さとがんばりに感動しました。

1年生は、広い運動場で、多くの人たちの前で、一人ひとりが、開会の言葉や70M走、表現「むつごろうどん」、応援などたくさんのお話を精一杯がんばりました。可愛さとそのがんばりに感動しました。開会の言葉⇒



「むつごろうどん」

2年生、2回目の運動会、成長した姿を見せてくれました。



←80M走 むつごろうどん

去年より10M距離も伸びた80M走を力強く走りました。1年間、徒歩で登下校してきて脚力も強くなってきました。その姿を見せてくれま

した。また、「むつごろうどん」は、練習の時から1年生のお手本として踊ってくれていました。当日は、可愛さにワンランクアップした踊りを見せてくれました。**3年生、低学年から中学年に進級した活躍を見せてくれました。**



3年生は、もう低学年ではない、中学年として成長した姿をバトンパスとたくましくなった走りのリレーで見せてくれました。また、横島小が大切に受け継いできた「潟担い節」を、横島町潟担い節保存会の方々と4年生か

ら教えてもらいながら、愛嬌たっぷりで、みごとに踊ってくれました。

4年生、「つ」なしの十歳、少年へと成長する姿を見せてくれました。



数を数えるときに「一つ、二つ、三つ、四つ、五つ、六つ、七つ、八つ、九つ、十（とう）」と数えます。4年生は、十歳になる学年です。私は、「つ」がつく歳までを幼子で、十歳からは少年になると教えられました。可愛いけれど頼りなく、はらはらしながら見守ってきた子どもたちが、リレーで見せてくれたたくましくなった走り方や、「わたしたちの潟担い節！！」で横島町の干拓の誇りを踊りで見せてくれたことに、4年生が、少年へと成長したことを感じました。頼もしく、うれしかったです。

5年生横島小のネクストリーダーとして、とても頼もしかったです。



4月から横島小を牽引する高学年になった5年生は、ネクストリーダーとして、運動会を盛り上げ、活躍しました。左の写真は、担任の有村先生が、運動会当日の朝に5年生教室の黒板にチョークでかかれた絵とメッセージの前で「心を一つに、さあ行くぞ！！」と団結しているものです。この後、運動場で5年生は、一段とたくましくなった走りや上手になったバトンパスのリレーを見せてくれたり、初めてのよさこいソーラン節をカッコよく踊ったりしました。また、6年生をサポートして、係活動や応援合戦などで大活躍しました。

6年生、準備から練習、係活動や競技等、小学校最後の運動会をみごとに成功させました。

今回が小学校最後の運動会の6年生は、学校のリーダーとして、計画、準備、練習と一人ひとりが、それぞれの役割を全うし、1年生からの団をまとめ、当日は、参観者を感動させる係活動や競技、表現を見せてくれました。今年の1年生のように、幼かった子どもたちが6年間で写真のように頼れる存在へと成長してきました。応援合戦の言動に、少年から青年へと成長していく心情が表れていました。親子競技では、大きくなった身体で保護者と競技する姿がとても微笑ましかったです。伝統になっている表現の「よさこいソーラン2024」では、たくましい踊りや、一つ一つの動作の“決め”がかっこよく、参観者から大きな拍手をもらいました。そして、係活動もすばらしかったです。6年生は、準備から練習、当日の行動に最高学年として活躍し、運動会を成功させました。

